

## 国際医療福祉大学医学部履修規程

### (目的)

- 第1条 この規程は、国際医療福祉大学学則（以下「学則」という。）に規定するもののほか、国際医療福祉大学医学部の教育課程、履修方法等について必要な事項を定めることを目的とする。
- 2 医学部においては、国際医療福祉大学授業科目履修規程に代わり、本規程を適用する。

### (教育課程)

- 第2条 開設する授業科目、単位数及び時間数は、別に定める（国際医療福祉大学の学部の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定める規程）。
- 2 複数年次に配当されている授業科目について、学生は最小配当年次での履修に努めるものとする。

### (授業時間)

- 第3条 医学部においては、1時限あたりの授業時間を原則60分とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、総合教育科目の一部や他学部との共通開講科目は、授業時間を90分とすることができる。
- 3 前2項の規定にかかわらず、教育上の効果等を勘案し、1時限あたりの授業時間は、これを変更することができる。

### (授業科目履修届)

- 第4条 学生は、授業科目一覧に掲げる授業科目を履修しようとする場合は、別に定める「授業科目履修届」（以下「履修届」という。）を所定の期日までに、学長に提出しなければならない。
- 2 履修届を提出した後に履修科目の変更または取消をしようとする場合は、別に定める「授業科目履修変更届」を所定の期日までに、学長に提出しなければならない。
- 3 前項にかかわらず、医学教育統括センター長は履修届、履修変更届に代える手段を指定することができる。

### (科目履修条件)

- 第5条 医学部の授業科目について履修条件を定めることができる。
- 2 医学部の科目履修条件は、別表1のとおりとする。
- 3 同一科目の履修登録は、原則として2回までとする。ただし、医学教育統括センター長が特に認めた場合はこの限りでない。

(医学部における試験等)

第6条 医学部において学則第28条の規定による試験は、定期試験のほか、追試験、再試験、公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構の実施する共用試験 CBT 及び共用試験 OSCE、卒業試験とする。

- 2 医学部において科目の総括評価である定期試験は、期間を定めず授業日程終了後に実施する。
- 3 試験に代えて、論文、報告書（レポート）等を課すことがある。
- 4 試験の実施に関する詳細は、別に定める。

(受験資格)

第7条 出席時間数が授業時間数の3分の2に達しない授業科目については、当該授業科目に係る試験を受験することができない。

- 2 試験に代えて、論文、報告書（レポート）等の提出を課す場合、出席時間数が授業時間数の3分の2に達しない授業科目については、当該授業科目に係る定期試験に代わる論文、報告書（レポート）を提出することができない。
- 3 実験、実技、実習その他特に出席を重視する授業科目においては、出席時間数の授業時間数に対する割合が、前2項の規定より引き上げられることがある。
- 4 レポート、小テスト、授業態度などシラバスで定められた定期試験以外の評価項目の点数によって、定期試験を受験しても科目の合格が不可能なことが明白な場合は定期試験を受験できない。

(共用試験 CBT 及び共用試験 OSCE について)

第8条 医学部においては、共用試験 CBT 及び共用試験 OSCE を実施する。

- 2 共用試験 CBT 及び共用試験 OSCE の履修条件は別表1のとおりとする。
- 3 共用試験 CBT 及び共用試験 OSCE については別に定める。

(卒業試験)

第9条 医学部においては卒業試験を実施する。

- 2 卒業試験の実施については別に定める。

(追試験)

第10条 忌引、疾病、公共交通機関の遅延など、やむを得ない理由により試験を受けることができなかった者は、当該授業科目について追試験を受けることができる。

- 2 前項の追試験を受けようとする者は、別に定める「追試験申請書」に、下記に定め

る書類を添付して所定の期日までに学長に提出し、許可を得なければならない。

- 一 疾病の場合、医師の診断書
  - 二 公共交通機関の遅延の場合、遅延証明書
  - 三 忌引の場合、会葬御礼または、会葬の実施を証明できる文書
  - 四 その他、追試験を受験するにいたった理由書または証明書
- 3 追試験を受けようとする者は、学長の許可を受けなければならない。
  - 4 追試験で合格した科目の成績は、90点を上限とする。ただし、共用試験 CBT 及び共用試験 OSCE についてはこの限りではない。

(再試験)

- 第11条 定期試験で成績が合格点に達しなかった場合に行う再試験は、原則として行わない。ただし、必要に応じて医学教育統括センター長の判断により、これを行うことができる。
- 2 第7条の4に該当し定期試験の受験資格を失った者については、当該科目について追加的に指導を受け、医学教育統括センター長がその成果を認めた場合、再試験を受験することができる。
- 3 再試験を許可された者は、「再試験願」に所定の再試験料を添えて事務局教務所管部署へ提出しなければならない。
- 4 再試験で合格した科目の成績は60点とする。ただし、共用試験 CBT 及び共用試験 OSCE についてはこの限りではない。

(成績評価)

- 第12条 成績評価は定期試験の他に論文、報告書(レポート)の提出、平素の修学状況等を加味することができる。
- 2 科目担当責任者は医学教育統括センター長の承認の上、担当する科目に成績の評価基準を定め、シラバスに記載することとする。
- 3 成績評価については、学則第29条に基づき、次の各号に掲げるとおりとする。
  - 一 秀 (S) 100点満点法による100点から90点まで
  - 二 優 (A) 100点満点法による89点から80点まで
  - 三 良 (B) 100点満点法による79点から70点まで
  - 四 可 (C) 100点満点法による69点から60点まで
  - 五 不可 (D) 100点満点法による59点以下
- 4 秀、優、良及び可は、合格、不可は、不合格とする。
- 5 医学部では、学生の成績評価指標としてGPA (Grade Point Average) を用いる。

## (不正行為)

第13条 定期試験、追試験、再試験、確認テスト、レポート、課題、実技・実習評価その他これらに準ずるすべての成績評価項目（以下「試験等」という。）において、次の各号のいずれかに該当する行為（以下「不正行為」という。）が認められた場合、または授業、実習その他教育活動における出席確認に関して不正行為が認められた場合は、当該学生が当該学期に履修登録した全科目の成績を、原則として「不可」とする。

- 一 試験等において、他者の答案、レポート、課題等を使用し、または使用しようとする行為
- 二 他者に答案、レポート、課題等を提供し、または提供しようとする行為
- 三 許可されていない資料・電子機器・通信機器・生成 AI・その他の手段を用いて解答、作成または評価を受ける行為
- 四 試験等に関し、替え玉受験、代理作成、なりすまし、またはこれらを企図・補助する行為
- 五 レポート、課題、成果物等について、盗用、剽窃、その他学術的不正に該当する行為
- 六 試験等の実施または評価を妨害し、またはその公正性を害する行為
- 七 授業、実習その他の教育活動における出席確認に関し、代返、虚偽の出席登録、出席していないにもかかわらず出席したと装う行為、またはこれらを補助する行為
- 八 前各号に掲げるもののほか、試験等または出席確認の公正性・信頼性を著しく損なう行為

## (禁止行為)

第14条 学生が授業の録画、録音は許可なく行うことは、これを禁止する。

- 2 授業の録画物、録音物、並びに授業資料について、学生が許可なく学外の者に閲覧させること及び貸与や譲渡することは、これを禁止する。

## (既修得単位の認定)

第15条 入学前に大学、短期大学等、その他文部科学大臣が定める学修で修得した単位は、60単位を超えない範囲で認定する。また入学後に他大学、短期大学等、その他文部科学大臣が定める学修で修得した単位は、30単位を超えない範囲で認定する。

- 2 前項の単位の認定にあたっては、編入学、転入学等の場合を除き、入学前に修得した単位及び入学後に修得した単位を合わせて60単位を超えない範囲で認定するものとする。
- 3 認定を受けようとするものは、「既修得単位認定申請書」に「成績証明書」を

添付し、審査を受けなければならない。

4 認定された単位の成績表示は、「認定」とする。

(進級・進級条件)

第16条 進級には、進級条件として定められた単位を取得しなければならない。

2 進級条件は、別表2のとおりとする。

(留年・卒業延期)

第17条 次の各号のいずれかに該当する者は留年とする。

一 学則第35条により、休学となった者

二 第15条により進級できない者

三 「国際医療福祉大学の学部の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定める規程」  
第3条により卒業できない者

四 第8条に定める共用試験 CBT、共用試験 OSCE を合格できなかった者

五 第9条に定める卒業試験を合格できなかった者

六 学習態度が極めて不良であると教授会が判定した者

2 留年者は、不合格科目について再履修しなければならない。加えて、修得済み授業科目のうち、医学教育統括センター長が必要と認める授業科目について、聴講し学習しなければならない。

(主管)

第18条 この規程にかかる事務の執行は、成田事務部教務課が主管するものとする。

附 則

この規程は、平成29年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、令和3(2021)年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、令和5(2023)年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、令和8(2026)年4月1日より施行する。

(別表 1) 授業科目の区分及び標準配当年次  
(平成 29 年度以降の入学生)

授業科目の区分	名称	履修区分	配当年次	授業科目の区分	名称	履修区分	配当年次	
総合教育科目	人間系	死生学	選択	1 2 3	専門教育	医学英語	必修	2
		医学史	選択	1 2 3		医療入門・正常解剖演習	必修	1
		芸術政策論	選択	1 2 3		医療面接・身体診察 I (入門)	必修	1
		日本の近現代史	選択	1 2 3		医療面接・身体診察 II (応用)	必修	2
		医療プロフェッショナルリズム I (入門)	必修	1		基礎医学総論 I (生化学)	必修	1
		医療プロフェッショナルリズム II (応用)	必修	2		基礎医学総論 II (分子生物学)	必修	1
	社会系	医療プロフェッショナルリズム III (発展)	必修	3		基礎医学総論 III (免疫学)	必修	1
		法と医療	必修	1		基礎医学総論 IV (生理学)	必修	1
		社会保障と医療制度	必修	1		基礎医学総論 V (薬理学)	必修	1
	全地球的な課題	英字新聞で読む社会学・政治学	自由	1 2 3		基礎医学総論 VI (組織学)	必修	1
		現代日本考～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～	自由	1 2 3		基礎医学総論 VII (組織学演習)	必修	1
		国際機関論	選択	1 2 3		基礎医学総論 VIII (病理学)	必修	1
		持続可能な発展	選択	1 2 3		基礎医学総論 IX (病理学演習)	必修	1
		異文化コミュニケーション	選択	1 2 3		発生・出産	必修	1
		国際関係論	選択	1 2 3		器官別統合講義 I (循環器系)	必修	1
	自然科学系	国際医療保健学 I (入門)	必修	1		器官別統合講義 II (呼吸器系)	必修	1
		国際医療保健学 II (応用)	必修	2		器官別統合講義 III (消化器系)	必修	2
		国際医療保健学 III (発展)	必修	3		器官別統合講義 IV (内分泌代謝系)	必修	2
		数学	自由	1 2 3		器官別統合講義 V (腎泌尿器系)	必修	2
		生物学	自由	1 2 3		器官別統合講義 VI (婦人科系(乳腺含む))	必修	2
		化学	自由	1 2 3		器官別統合講義 VII (運動器・皮膚・膠原病)	必修	2
		物理学	自由	1 2 3		器官別統合講義 VIII (脳神経・精神系)	必修	2
		医療生物学	必修	1		器官別統合講義 IX (感覚器系)	必修	2
		医療化学	必修	1		器官別統合講義 X (血液系)	必修	2
		医療物理学・医用工学	必修	1		正常人体解剖実習	必修	2
	外国語系	統計学	必修	1		関連職種連携ワーク	必修	4
		英語 I (入門)	必修	1		関連職種連携実習	自由	4
英語 II (応用)		必修	1	海外医療体験	自由	1		
英語コミュニケーション A (入門)		自由	1 2	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	必修	2		
英語コミュニケーション B (実践)		自由	1 2	感染症	必修	2		
ドイツ語入門(会話含む)		自由	1	腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	必修	2		
中国語入門(会話含む)		自由	1	救急と集中治療	必修	2		
韓国語入門(会話含む)		自由	1	麻酔	必修	2		
フランス語入門(会話含む)		自由	1	予防医学・行動科学	必修	2		
スペイン語入門(会話含む)		自由	1	老年医学	必修	2		
タイ語入門(会話含む)		自由	1	社会医学 I (医療管理学)	必修	3		
ベトナム語入門(会話含む)		自由	1	社会医学 II (衛生学・公衆衛生学)	必修	3		
ビルマ語入門(会話含む)		自由	1	社会医学 III (法医学)	必修	3		
ドイツ語応用(会話含む)		自由	1	社会医学 IV (臨床疫学・EBM)	必修	3		
中国語応用(会話含む)		自由	1	社会医学 V (演習)	必修	3		
韓国語応用(会話含む)		自由	1	総合臨床医学	必修	3		
フランス語応用(会話含む)		自由	1	臨床診断入門	必修	3		
スペイン語応用(会話含む)		自由	1	症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	必修	3		
タイ語応用(会話含む)		自由	1	総括講義	必修	6		
ベトナム語応用(会話含む)		自由	1	臨床実習 I (基礎)	必修	4		
ビルマ語応用(会話含む)	自由	1	臨床実習 II (発展)	必修	5			
留学生用日本語科目	日本語 I-A(作文)	自由	1	臨床実習 III (専門)	必修	5		
	日本語 I-B(文法・語彙)	自由	1	臨床実習 IV (実践)	必修	6		
	日本語 II-A(作文)	自由	1					
	日本語 II-B(文法・語彙)	自由	1					
	日本語 II-C(発表・討論)	自由	1					
	日本語 II-D(専門日本語)	自由	1					
	日本語 III-A(作文)	自由	1					
	日本語 III-B(文法・語彙)	自由	1					
	日本語 III-C(発表・討論)	自由	1					
	日本語 III-D(専門日本語)	自由	1					
医療福祉専門漢字	自由	1						
医療福祉専門語彙	自由	1						

(平成30年度以降の入学生)

授業科目 の区分	名称	履修 区分	配当年次	授業科目 の区分	名称	履修 区分	配当年次	
総合 教育科目	人間 系	死生学	選択 1 2 3	専門 基礎	医学英語	必修	2	
		医学史	選択 1 2 3		医療入門・正常解剖演習	必修	1	
		芸術政策論	選択 1 2 3		医療面接・身体診察Ⅰ(入門)	必修	1	
		日本の近現代史	選択 1 2 3		医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	必修	2	
		医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門)	必修		1	基礎医学総論Ⅰ(生化学)	必修	1
		医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)	必修		2	基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)	必修	1
	医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展)	必修	3		基礎医学総論Ⅲ(免疫学)	必修	1	
	社会 系	法と医療	必修		1	基礎医学総論Ⅳ(生理学)	必修	1
		社会保障と医療制度	必修		1	基礎医学総論Ⅴ(薬理学)	必修	1
		英字新聞で読む社会学・政治学	自由		1 2 3	基礎医学総論Ⅵ(組織学)	必修	1
		現代日本考～政治・経済・社会・文化を 理解する道しるべ～	自由		1 2 3	基礎医学総論Ⅶ(組織学演習)	必修	1
	全 地球 的 な 課 題	国際機関論	選択		1 2 3	基礎医学総論Ⅷ(病理学)	必修	1
		持続可能な発展	選択		1 2 3	基礎医学総論Ⅸ(病理学演習)	必修	1
		異文化コミュニケーション	選択		1 2 3	発生・出産	必修	1
		国際関係論	選択		1 2 3	器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	必修	1
		経済成長をめぐる世界の諸問題	選択		1 2 3	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	必修	1
		国際医療保健学Ⅰ(入門)	必修		1	器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	必修	2
	自然 科学 系	国際医療保健学Ⅱ(応用)	必修		2	器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	必修	2
		国際医療保健学Ⅲ(発展)	必修		3	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	必修	2
		数学	自由		1 2 3	器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))	必修	2
		生物学	自由		1 2 3	器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	必修	2
		化学	自由		1 2 3	器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系)	必修	2
		物理学	自由		1 2 3	器官別統合講義Ⅸ(感覚器系)	必修	2
	外国 語形	医療生物学	必修		1	器官別統合講義Ⅹ(血液系)	必修	2
		医療化学	必修		1	正常人体解剖実習	必修	2
		医療物理学・医用工学	必修		1	関連職種連携ワーク	必修	4
		統計学	必修		1	関連職種連携実習	自由	4
英語Ⅰ(入門)		必修	1	海外医療体験	自由	1		
英語Ⅱ(応用)		必修	1	専門	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	必修	2	
英語コミュニケーションA(入門)		自由	1 2		感染症	必修	2	
英語コミュニケーションB(実践)		自由	1 2		腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	必修	2	
ドイツ語入門(会話含む)		自由	1		救急と集中治療	必修	2	
中国語入門(会話含む)		自由	1		麻酔	必修	2	
韓国語入門(会話含む)		自由	1		予防医学・行動科学	必修	2	
フランス語入門(会話含む)		自由	1		老年医学	必修	2	
スペイン語入門(会話含む)		自由	1		社会医学Ⅰ(医療管理学)	必修	3	
タイ語入門(会話含む)		自由	1		社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学)	必修	3	
ベトナム語入門(会話含む)		自由	1		社会医学Ⅲ(法医学)	必修	3	
ビルマ語入門(会話含む)		自由	1		社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM)	必修	3	
ドイツ語応用(会話含む)		自由	1		社会医学Ⅴ(演習)	必修	3	
中国語応用(会話含む)		自由	1		総合臨床医学	必修	3	
韓国語応用(会話含む)	自由	1	臨床診断入門		必修	3		
フランス語応用(会話含む)	自由	1	症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)		必修	3		
スペイン語応用(会話含む)	自由	1	総括講義		必修	6		
タイ語応用(会話含む)	自由	1	臨床実習Ⅰ(基礎)		必修	4		
ベトナム語応用(会話含む)	自由	1	臨床実習Ⅱ(発展)		必修	5		
ビルマ語応用(会話含む)	自由	1	臨床実習Ⅲ(専門)	必修	5			
留 学 生 用 日 本 語 科 目	日本語Ⅰ-A(作文)	自由	1	臨床実習Ⅳ(実践)	必修	6		
	日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	自由	1					
	日本語Ⅱ-A(作文)	自由	1					
	日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	自由	1					
	日本語Ⅱ-C(発表・討論)	自由	1					
	日本語Ⅱ-D(専門日本語)	自由	1					
	日本語Ⅲ-A(作文)	自由	1					
	日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	自由	1					
	日本語Ⅲ-C(発表・討論)	自由	1					
	日本語Ⅲ-D(専門日本語)	自由	1					
医療福祉専門漢字	自由	1						
医療福祉専門語彙	自由	1						
日本語Ⅳ-C(発表・討論)	自由	2 3						
日本語Ⅴ-C(発表・討論)	自由	2 3						
日本語Ⅳ-E(読解・作文)	自由	2 3						
日本語Ⅴ-E(読解・作文)	自由	2 3						

(令和5年度以降の入学生)

授業科目の区分	名称	履修区分	配当年次	授業科目の区分	名称	履修区分	配当年次		
総合教育科目	人間系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するための一	必修	1 2	専門教育	医学英語Ⅰ(基礎)	必修	1	
		死生学	選択	1		医学英語Ⅱ(臨床英語の基本)	必修	2	
		医学史	選択	1		医学英語Ⅲ(臨床英語の応用)	必修	3	
		芸術政策論	選択	1		医学英語Ⅳ(医学英語の実践・基本)	必修	4	
		日本の近現代史	選択	1		医学英語Ⅴ(医学英語の実践・応用)	必修	5	
		医療プロフェッショナリズムⅠ(入門)	必修	1		医学英語Ⅵ(医学英語の総括)	必修	6	
		医療プロフェッショナリズムⅡ(応用)	必修	2		骨学・神経解剖学	必修	2	
	医療プロフェッショナリズムⅢ(発展)	必修	3	医療面接・身体診察Ⅰ(入門)		必修	1		
	社会系	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	必修	1 2		医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	必修	2	
		法と医療	必修	1 2		基礎医学総論Ⅰ(生化学)	必修	1	
		英字新聞で読む社会学・政治学	自由	1		基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)	必修	1	
		現代日本考～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～	自由	1		基礎医学総論Ⅲ(免疫学)	必修	1	
	全地球的な課題	海外保健福祉事情	自由	2		基礎医学総論Ⅳ(生理学)	必修	1	
		国際機関論	選択	1		基礎医学総論Ⅴ(薬理学)	必修	1	
		持続可能な発展	選択	1		基礎医学総論Ⅵ(組織学)	必修	1	
		異文化コミュニケーション	選択	1		基礎医学総論Ⅶ(組織学演習)	必修	1	
		国際関係論	選択	1		基礎医学総論Ⅷ(病理学)	必修	1	
		経済成長をめぐる世界の諸問題	選択	1		基礎医学総論Ⅸ(病理学演習)	必修	1	
		国際医療保健学Ⅰ(入門)	必修	1		人体発生学	必修	1	
		国際医療保健学Ⅱ(応用)	必修	2		生殖・妊娠・分娩	必修	1	
		国際医療保健学Ⅲ(発展)	必修	3		器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	必修	1	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	必修	1 2		器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	必修	2	
	数学・自然科学系	データリテラシー	必修	1		器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	必修	2	
		数学	自由	1		器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	必修	2	
		生物学	自由	1		器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	必修	2	
		化学	自由	1		器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))	必修	2	
		物理学	自由	1		器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	必修	2	
		医療生物学	必修	1		器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系)	必修	2	
		医療化学	必修	1		器官別統合講義Ⅸ(感覚器系)	必修	3	
		医療物理学・医用工学	必修	1		器官別統合講義Ⅹ(血液系)	必修	3	
		医療データサイエンスⅠ(DS基礎)	選択	3		人体解剖学実習	必修	2	
		医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	選択	3		早期体験実習Ⅰ(基礎)	必修	1	
	外国語系	英語ⅠA(入門)	必修	1		早期体験実習Ⅱ(応用)	必修	2	
		英語ⅠB(初級)	必修	1		早期体験実習Ⅲ(発展)	必修	3	
		英語Ⅱ(中級)	必修	2		関連職種連携ワーク	必修	3	
		英語Ⅲ(上級)	必修	3		関連職種連携実習	自由	5	
		英語コミュニケーションA(入門)	自由	1 2 3		専門	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	必修	3
		英語コミュニケーションB(実践)	自由	1 2 3			感染症	必修	1
		英語コミュニケーションC(発展)	自由	1 2 3			腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	必修	3
		ドイツ語入門(会話含む)	自由	1			救急と集中治療	必修	3
		中国語入門(会話含む)	自由	1			麻酔	必修	3
		韓国語入門(会話含む)	自由	1			予防医学・行動科学	必修	3
		フランス語入門(会話含む)	自由	1			老年医学	必修	3
		スペイン語入門(会話含む)	自由	1			社会医学Ⅰ(医療管理学)	必修	3
		タイ語入門(会話含む)	自由	1			社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学)	必修	3
ベトナム語入門(会話含む)		自由	1	社会医学Ⅲ(法医学)	必修		3		
ビルマ語入門(会話含む)		自由	1	社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM)	必修		3		
ドイツ語応用(会話含む)		自由	1	総合臨床医学	必修		3 4		
中国語応用(会話含む)		自由	1	臨床診断入門	必修		3 4		
韓国語応用(会話含む)		自由	1	症候と臨床推論	必修		3 4		
フランス語応用(会話含む)		自由	1	総括講義 ※	選択		6		
スペイン語応用(会話含む)		自由	1	医学研究 ※	選択		6		
タイ語応用(会話含む)		自由	1	臨床実習Ⅰ(基礎)	必修		4		
ベトナム語応用(会話含む)		自由	1	臨床実習Ⅱ(応用)	必修	5			
ビルマ語応用(会話含む)		自由	1	臨床実習Ⅲ(専門)	必修	5			
留学生用日本語科目		日本語Ⅰ-A(作文)	自由	1	臨床実習Ⅳ(実践)	必修	6		
		日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	自由	1	臨床実習Ⅴ(発展) ※	選択	6		
		日本語Ⅱ-A(作文)	自由	1					
		日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	自由	1					
		日本語Ⅱ-C(発表討論)	自由	1					
	日本語Ⅱ-D(専門日本語)	自由	1						
	日本語Ⅲ-A(作文)	自由	1						
	日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	自由	1						
	日本語Ⅲ-C(発表・討論)	自由	1						
	日本語Ⅲ-D(専門日本語)	自由	1						
留学生用日本語科目	医療福祉専門漢字	自由	1						
	医療福祉専門語彙	自由	1						
	日本語Ⅳ-C(発表・討論)	自由	2 3						
	日本語Ⅳ-D(発表・討論)	自由	2 3						
	日本語Ⅳ-E(読解・作文)	自由	2 3						
	日本語Ⅳ-F(読解・作文)	自由	2 3						

(別表2) 科目履修条件・受験資格

	科目名・試験名	履修条件・受験資格
平成二九年度以降の入学生	共用試験 CBT・ 共用試験 OSCE	3年次までに開講された必修科目の単位をすべて取得していること。
	臨床実習Ⅰ（基礎）	次のすべての条件を満たすこと。 1) 3年次までに開講された必修科目の単位をすべて取得していること。 2) 共用試験 CBT、共用試験 OSCE に合格していること。
	臨床実習Ⅱ（発展）	4年次までに開講された必修科目の単位をすべて取得していること。
	臨床実習Ⅲ（専門）	5年次1学期までに開講された必修科目の単位をすべて取得していること。
	臨床実習Ⅳ（実践）	5年次までに開講された必修科目の単位をすべて取得していること。
令和五年度以降の入学生	共用試験 CBT・ 共用試験 OSCE	2年次までに開講された必修科目の単位をすべて取得していること。
	臨床実習Ⅱ（発展） 臨床実習Ⅲ（専門）	臨床実習Ⅰ（基礎）の単位を修得していること。

(別表3) 進級条件

平成二九年度以降の入学生	1年次から2年次への 進級条件	次の科目を除く、1年次配当の必修科目の単位をすべて取得していること。 「法と医療」「社会保障と医療制度」「統計学」「器官別統合講義Ⅰ（循環器系）」「器官別統合講義Ⅱ（呼吸器系）」
	2年次から3年次への 進級条件	次のすべての条件を満たすこと。 1) 1年次に配当の必修の専門教育科目の単位をすべて取得していること。 2) 次の科目を除く、2年次配当の必修の専門教育科目の単位をすべて取得していること。 「正常人体解剖実習」「救急と集中治療」「麻酔」「予防医学・行動科学」「老年医学」
	3年次から4年次への 進級条件	次のすべての条件を満たすこと 1) 3年次までに配当される必修科目の単位をすべて取得していること。 2) 総合教育科目の選択科目において、「人間系」より1単位以上、「全地球的な課題」より1単位以上、いずれも取得済みであること。 3) 共用試験 CBT、共用試験 OSCE に合格していること。
	5年次から6年次への 進級条件	5年次までに配当される必修科目のすべての単位を取得していること。

令和五年度以降の入学生	1年次から2年次への進級条件	<p>1) 1年次の必修科目の単位のうち、次の科目を除くすべての科目の単位を修得していること。  「大学入門講座 -医療人・社会人として成長するために-」  「我が国の社会福祉・医療保障政策の知識」  「医療必修 -医療の倫理と医療プロフェッショナリズム-」  「法と医療」</p> <p>2) 総合教育科目の選択科目において、「人間系」より1単位以上、「全地球的な課題」より1単位以上、いずれも修得済であること。</p>
	2年次から3年次への進級条件	<p>1) 1年次の必修科目の単位をすべて修得していること。  2) 2年次の必修科目の単位をすべて修得していること。</p>
	3年次から4年次への進級条件	<p>3年次の必修科目のうち、次の科目を除くすべての科目の単位を修得していること。  「総合臨床医学」「臨床診断入門」「症候と臨床推論」</p>
	4年次から5年次への進級条件	<p>4年次の必修科目の単位をすべて修得していること。</p>
	5年次から6年次への進級条件	<p>4年次までの必修科目のすべての単位を修得していること。</p>